



# 旭中通信

練馬区立旭丘中学校  
学校通信 1月号  
令和2年1月10日発行

## 新たなチャレンジを

校長 渡邊 重幸

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、清祥なる新年を迎えられたことと拝察いたします。謹んでお慶び申し上げます。

今年も「できた。」「わかった。」という喜びや、友達と仲良く助け合うことや活き活きと活動することのできる、そんな笑顔あふれる学校を目指して、全力で取り組んで参ります。本年もよろしく願いいたします。



今年「十干十二支（じっかんじゅうにし）」の『庚子（かのえ・ね）年』です。「子」は本来「孳」という字で、十干十二支を植物で見た時、庚子は変化が生まれる状態、新たな生命がきざし始める状態なので、全く新しいことにチャレンジするのに適した年とも言えるようです。ぜひ、皆さんも新しいことにチャレンジしてみてください。また、「子」に生き物の「ねずみ」が割り当てられたのは、繁殖能力が高い生き物として割り当てられたという説もあります。子孫繁栄や拡大していくなどの意味をもっています。

ところで、日本には十二支にまつわる有名な話があります。皆さんは知っていますか。

神様が多くの動物を集めて、「新年に御殿に挨拶に来たものから順番に12番目までを1年の大将をまかせる」と言い、その順番で十二支が決まったというお話です。結果としては、ねずみ、うし、とら、うさぎ・・・という順番ですが、この物語が面白おかしく語られています。細かい内容については物語によって多少変わりますが、物語の大筋は以下のとおりです。「神が十二支の動物を決める際、家の門の前に来た順番に決めることにしました。牛は動きが遅いからと真っ先に出かけ、一番に門の前に着きました。しかし、門が開けられる時、牛の頭の上に乗っていた鼠が牛の前に飛び出たので、鼠が一番になりました。また、犬と猿はケンカしながら競い合っていたので、仲裁に鳥が入った（申、酉、戌）そうです。なお、猫も十二支に入れてもらおうと準備をしていたのですが、鼠が集合の日をわざと間違えて教えたので十二支に入ることができなかったのです。それで今でも猫は鼠を追いかけ回すのだということです。」十二支一つとっても、いろいろなお話があるので調べてみるのも楽しいと思います。

今年度も、保護者の皆様に「学校アンケート」を実施しました。今年の提出率は80%近くになりました。（来年度は100%を目指します）このアンケートは本校の教育活動や子供たちの現状の課題について、ご意見をいただき、今後の教育実践をより充実させるためのものです。後日、結果を公表いたします。ご協力いただき感謝申し上げます。

＜選挙啓発授業＞

練馬区選挙管理委員会の皆様のご協力で、選挙啓発授業を行ないました。この授業は、主権者教育の普及・啓発のために毎年1校（33校中）にお願いし、啓発授業を行っています。今年度はちょうど、旭丘中学校が実施校になりました。模擬選挙・投票を行い、より選挙を理解してもらえたら幸いです。

また、後半は笑下村塾の芸人の方から「笑える！使える！政治教育ショー」を行っていただきました。

＜講師紹介＞

＜ジグザグジギー（池田勝さん）＞

マセキ芸能社所属のお笑いコンビである。キングオブコント2013、2016ファイナリスト。オンバト+第4代チャンピオン。

＜ガリベンズ矢野（矢野正樹さん）＞

くりむしちゅー上田晋也さんのものまねで活躍中！ものまねレパトリーは他には、小藪千豊さん、阿部寛さん、西田敏行さん、石橋貴明さん、ずん飯尾さんなど。

＜ぶらっくさむらい（竹内剛さん）＞

シンガーソングライター、ミュージシャンだった経歴を生かし、ギター漫談、引き語りを交えての替え歌、ものまね、ラップ、一人コントなどを行っている。



練馬区選挙管理委員会の皆様による選挙啓発の授業



笑下村塾の皆様による政治教育ショー

